

商業高校による地域の小中学生を対象とした プログラミング教育支援実践事例

2

学校名	北海道釧路商業高等学校
テーマ	小学生向けプログラミング体験(Scratch)
対象	小学生(1年生以上、家族同伴可、30名程度)
実施日	平成30年8月2日(木) 10:00~12:00
連携先	北海道情報専門学校

- 本校では、2017年から、小学生向けにプログラミング体験会を開催しています。テレビでも、おなじみの教育用プログラミング言語「Scratch」を利用して2020年から小学校で必修化されるプログラミングを体験します。
- 体験会では、小学校で学んだ三角形や四角形を「Scratch」で、六・八・十角形に変えてみました。プログラミングならではの「考える」→「やってみる」→「確認して修正する」のサイクルで自由な発想を伸ばすことを目指し、子どもたちが楽しく自分の力でプログラミングができるよう、本校情報処理科の生徒が個別にサポートします。参加した子どもたちが間違った処理をすると、できあがった図形は予想しない形になるので、驚きと楽しさに溢れる雰囲気になりました。
- 体験会では、「お絵かき」や「ブロック崩し」のゲームを作成して、プログラミングの基礎を楽しみながら学びます。最後に本校生徒がScratchで作成したシューティングゲームを体験して大いに盛り上がりました。



左写真は「釧路新聞(平成30年8月3日)」に掲載されたものです

参加者の声

- ・「初めてプログラミングをやってみたけど、思ったとおり動いた時がうれしかった。」(小4)
- ・「難しく見えたけど、やってみたら簡単だった。家で自分のゲームをつくりたい。」(小6)
- ・「プログラミング教育について、具体的なイメージができた。また参加させたい」(保護者)
- ・「子どもと一緒にやってみたら、私にも理解できた。家でも一緒にできそう。」(保護者)



本校では、12月15日(土)に「コーチャンフォー釧路文化ホール」で行われる教育活動報告会や冬休みにも教室を開催します。基本的には小学生の参加を募集しますが、小中学校の先生方がプログラミングについて研修することも可能です。生徒が学習したプログラミングの知識を活かして、地域に貢献していきます。ご希望の方は釧路商業高校までお問い合わせください。

北海道釧路商業高等学校 0154-52-5253 (担当:長森)

商業高校の学習成果を「プログラミング体験会」で発揮！子どもたちができるを実感！

Keyword 小学生、中学生

Scratch、プログラミング体験会



北海道教育庁学校教育局
高校教育課(キャリア教育指導グループ)